

第七十一回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案外三件委員會會議錄(速)第五回

會議

昭和十二年八月四日(水曜日)午後一時五十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山道 襄二君

理事西村金三郎君 理事宮本雄一郎君

理事本田彌市郎君 理事岩瀬 亮君

坂下仙一郎君 高木条太郎君

矢野庄太郎君 村瀬 武男君

塚本 三君 松浦周太郎君

山田 清君 盛島 明長君

西川 貞一君 中井 一夫君

松岡 俊三君 行吉 角治君

青山 憲三君 上田 孝吉君

小平 重吉君 井阪 豐光君

野中 徹也君 笠井 重治君

田原 春次君 岡崎 憲君

渡邊 泰邦君

同日委員山田清君辭任ニ付其ノ補闕トシテ

村瀬武男君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官 勝田 永吉君

內務省地方局長 坂 千秋君

大藏政務次官 太田 正孝君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏書記官 尾關 將玄君

農林政務次官 高橋 守平君

商工省工務局長 小島 新一君

燃料局長官 竹内 可吉君

拓務參與官 伊禮 肇君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入

稅ノ從量稅率ニ關スル件)(政府提出)

大正十四年法律第五十一號中改正法律案

(關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入稅免除

等ニ關スル件)(政府提出)

鐵ノ輸入稅免除ニ關スル法律案(政府提

出)

大正九年法律第五十三號中改正法律案

(關稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル

特例ニ關スル件)(政府提出)

昭和十二年勅令第三百三十號(鐵ノ輸入稅

免除ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

○山道委員長 只今カラ會議ヲ開キマス、

質疑ハ終了致シテ居リマスカラ、是カラ討

論ニ入りマス、趣旨ハ大體同ジヤウデアリ

マスカラ付託案全部ニ付テノ討論ヲ希望致

シマス——西村君

○西村委員 原案ニ付テハ全部之ヲ贊成致

シマス、唯茲ニ關稅定率法中改正法律案ニ

付託議案

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

昭和七年法律第四號中改正法律案

(輸入稅ノ從量稅率ニ關スル件)

(政府提出)

大正十四年法律第五十一號中改正

法律案(關東州ノ生産ニ係ル物品

ノ輸入稅免除等ニ關スル件)(政府

提出)

鐵ノ輸入稅免除ニ關スル法律案

(政府提出)

大正九年法律第五十三號中改正法

律案(關稅法及關稅定率法等ノ朝

鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)(政府

提出)

昭和十二年勅令第三百三十號(鐵ノ

輸入稅免除ニ關スル件)(承諾ヲ求

ムル件)

付テ附帶決議ヲ致シタイト存ズルノデアリ

マス、其要旨ハ

政府ハ漁業經營費低減施設費ヲ昭和十三

年度以降年額三百萬圓ニ増額シテ施設ヲ

擴充シ其ノ中百萬圓ヲ下ザル金額ハ從

來ノ關稅免除ニ依ル受益者中現行豫算ノ

機械改造補助ヲ受ケザル中小漁業者ニ補

助金トシテ交付スベシ

斯ウ云フ附帶決議ヲ致シタイト思ヒマス、

是ハ只今朗讀致シマシタ文面ニ依ッテ明ナ

ル如ク、今回ノ關稅ノ改正ニ依リマシテ、

漁業者ノ經營費低減施設費ハ二百萬圓デ可

ナリトスルモ、尙ホ自ラ「ディーゼル・エン

ジン」其他ノ施設ヲ爲シ得ザル中小漁業者

ガ洵ニ氣ノ毒ナル立場ニアルノデアリマ

ス、故ニ昭和十三年度カラ是等ノ氣ノ毒ナ

ル中小漁業者ニ、適當ナル方法ヲ以テ補助

金トシテ交付シタイ、是ガ趣旨デアリマス、政府ノ之ニ對スル御言明ヲ求メタイト思ヒマス

○山道委員長 田原君

○田原委員 私人方ハ昨日來ノ政府側ト委員側トノ質問應答ヲ通ジテ見マシテ、次ノヤウニ修正ヲシタイト思フテ居リマス、修正案ヲ出シマスカラ、是非各委員ノ御賛成ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、關稅定率法中改正法律案ヲ次ノヤウニ修正シタイト思ヒマス、第七條ニ付テハ「第七條第四號ノ二ヲ削リ」トアルノヲ削除シタイ、是ガ第一ノ修正デアリマス、ソレカラ別表輸入稅表中左ノ如ク改ム、第一百十二號ヲ左ノ如ク改ムトアル中ノ「二其ノ他」ノ項ヲ削除シタイ、モウ一ツノ分ハ昭和七年法律第四號中改正法律案ニ對スル修正デアリマス、此中「同第一百十二號ノ項ヲ左ノ如ク改ム、一一二礦油、二其ノ他」ヲ削リタイ、以上デゴザイマス

○西村委員 只今附帶條件ニ付テ政府ノ御言明ヲ求メマシタ所、尙ホ其時ニ說明ヲスル關係官ガ御見エニナラヌサウデアリマスカラ、更ニ茲ニ希望條件ヲ付シタイト思ヒマス、關稅定率法中改正法律案及ビ昭和七年法律第四號中改正法律案ニ對スル希望條件ヲ一括シテ朗讀致シマス

希望條項

一 政府ハ燃料國策ノ遂行ニ當リ自動車營業者ノ受ク可キ負擔ヲ輕減セシムル爲自動車稅ノ減免道路ノ改良其ノ他斯業ノ改善ニ必要ナル諸般ノ政策ヲ急速ニ實施スベシ

二 政府ハ帝國燃料興業株式會社ノ人造揮發油ノ相當多量ガ商品トシテ市場ニ出荷セラル、迄關稅引上ニ依ル値上許可ニ付テハ深甚ノ考慮ヲ拂フベシ

此希望條件ニ付キマシテハ一言申添ヘテ置キマスガ、實ハ此關稅ノ改正ニ依ッテ、之ヲ豫想シテ見越輸入ガ相當アリ、實情ミガ相當アリ、是等ノモノガ事實上液體燃料ノ高價ニ依ッテ出來上ツタ製品ガ市場ニ出ル前ニ、其高價値デ以テ市價ヲ定メラレルヤウナコトガアツタ時分ニハ、唯是等ノ見越輸入ヲシタ者、或ハ賣惜ミヲシタ者、是等ノ商賣人ガ儲ケルノミデアッテ、アノ五錢ノ關稅ト云フモノハ何等國策ノ上ニ寄與セズ、唯之ヲ消費スル者ガ苦シムノミデアル、是等ノ値上ニナラナイヤウニ、其邊ノ所ヲ十分ニ深甚ノ注意ヲ拂ッテ貫ヒタイト云フ意味デアリマス、ソレカラ

三 政府ハ砂糖關稅引下ニ依リ沖繩縣糖

業ノ蒙ル打撃ヲ緩和スル爲適切ナル施設方法ヲ講ズベシ

四 纖維「パルプ」及其ノ資材關稅免除ニ當リ國內森林資源ノ再檢討ヲ爲シ纖維工業並各種木材工業ノ資源ノ自給策ヲ講ジ速ニ其實現ヲ期スベシ

是モ文句ガ少シ不明ナ點ガアリマスノデ一言申添ヘマス、是ハ日本ニ於ケル森林ヲ整理スルナラバ自給スル途モソコニ十分アル、即チ老齡樹ノ「パルプ」材ヲ伐採スルコトニ依ッテ、ソレヲ棄置クコトニ依ッテ繁茂シ得ナイ所ノ「パルプ」材ガ之ニ依ッテ繁茂シ、又「パルプ」材ノ造成ニ付テ、林政ニ付テ努力スルナラバ自給策ハ十分講ゼラレルガラウ、斯ウ云フ考モアルノデアリマス、隨テ此自給策ヲ講ジ、速ニ自給自足ヲ爲シ得ルヤウニ、其實現ニ努力シテ貫ヒタイ、斯ウ云フ意味デアリマス、次ニ

五 新聞紙輸入關稅免除ニ鑑ミ印刷其ノ他用紙ノ免稅ニ付考慮スベシ

是モ新聞紙關稅ハ免除サレタガ、印刷用紙ノ關稅ハ免除サレナイ、十分ノ考慮ヲ拂ッテ貫ッテソレモ均霑シ得ルヤウニ努力シテ戴キタイ、斯ウ云フノデアリマス、次ガ

六 滿洲紅松輸入關稅ハ昭和十三年度ヨリ是ガ全免ヲ實施スベシ

此紅松輸入關稅ハ第七十議會ノ委員會ニ於キマシテモ度々昭和十三年度ヨリ是ガ免稅ヲ行フ、日加相互ノ依存ノ關係上之ヲ實行シヨウト云フヤウナ御言明ガ度々アッタノデアリマス、其言明ニ從ッテ昭和十三年度ヨリ之ガ實現ヲスルヤウ是非トモヤッテ貫ヒタイ、斯ウ云フノデアリマス、右ノ希望條件ヲ付シテ贊成スル次第デアリマス

○岩瀬委員 私人政友會ヲ代表致シマシテ、只今上程サレテ居リマス原案ニ對シ西村君御提案ト同様ノ附帶決議並ニ希望條項ヲ付シテ原案ニ贊成ノ意ヲ表シマス、本法ハ政府ノ緊要ナル國策遂行ニ伴フモノデアリマシテ、我が國防上且又産業上重要ナル施設デアリマス、而シテ何レモ前議會ノ委員會ニ於テ大部分原案ヲ認メタモノデアリマス、其中一般礦油關稅ノ中、漁業用船舶ニ用フル重油ニ關シマシテハ、漁業經濟ノ實情ヨリ致シマシテ其蒙ル被害ヲ考ヘマシタ結果、漁業者ノ使用スル礦油ヲ免稅スル修正ヲ致シタノデアリマス、然ルニ今回政府ノ御提案ハ、右漁業者ニ對シマシテハ別ニ對策豫算二百萬圓ヲ計上シテ其匡救ヲ圖ル故ヲ以テ、再ビ前議會ノ原案ノ儘ヲ提出サレタノデアリマスガ、本委員會ニ於ケル質問應答ニ依ッテ明ニサレマシタ通り、對策

豫算二百萬圓ニ依ル施設ノミヲ以テ致シマシテハ、到底此免稅廢止ニ依ル中小漁業者ノ打撃ヲ救ヒ、水產業界ノ動搖ヲ防止シ得ズト思ヒマスルガ故ニ、政府ハ只今提出致シマシタ附帶決議ノ趣旨ヲ認メテ、明十三年度ヨリ更ニ有效適切ナル對策ヲ樹立サレシコトヲ條件ト致シマシテ、原案ニ贊成スル者デアリマス、尙ホ他ノ項目ニ付キマシテモ國民經濟ニ與ヘル重大ナル關係ヲ考慮致シマシテ、希望條項ノ遂行ニ十分ノ誠意ヲ以テ當ラレンコトヲ切望スル者デアリマス

○笠井委員 第一議員俱樂部ヲ代表致シマシテ一言申上ゲマス、礦油ニ付キマシテハ只今西村、岩瀬兩委員カラ提言ノアツタ所ニ贊成致シマス、而シテ先般來申上ゲマシタ新聞紙ノ無稅ニ關シテ、同時ニ印刷用紙モ無稅ニセヨト云フコトヲ私ハ極論致シタノデアリマスガ、今回ハ新聞紙ト同様ニ印刷用紙、其他ノ紙類ヲ無稅ニ致シマスルヤウ之ヲ修正スル動議ヲ出シテ置キマス、之ヲ以テ贊成致シマス

○田原委員 私ハ修正案ニ對シテ説明ヲ省イテ居ッタノデアリマスガ、政、民、第一議員俱樂部ノ方カラモ附帶決議、希望條項ニ付テ説明ガアツタノデ、私モ修正案ニ對スル説明ヲ簡單ニ加ヘテ置キマス、私ノ方ノ考

ハ、農林對策ノ中ニ二百萬圓ガ計上サレテ居ルコトニ付キマシテハ満足シテ居ルノデアリマスガ、燃料國策ノ遂行ノ上ニ於キマシテ、關稅定率法中改正條項ノ第七條ノ四號ノ二デアリマスル漁業用礦油ノ免稅廢止ヲ必要トシナイノデアリマス、是ハ現行法通りデ宜シイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、別個ニ二百萬圓乃至三百萬圓ニ依ル農林對策ハ私共モ贊成デアリマスガ、此燃料國策ノ遂行ノ上ニ於キマシテ、漁業用礦油ヲ特ニ削ル必要ハナイト思ヒマス、是非トモ各同僚諸君モ此修正案ニ贊成ヲ願ヒタイ、ソレカラ次ノ修正條項ハ自動車問題デアリマスガ、今日ノ日本ノ自動車ノ製造能力、其質、ソレ等ヲ考ヘマスル時ニ、外來品ノ輸入稅ヲ引上ゲルト云フコトニ付テハ時期尙早ト考ヘマスシ、併セテ日本ノ自動車業ノ今日ノ實情其他ヲ考ヘマスル時ニ、其稅率ヲ引上ゲルトコトニハ反對デアリマスカラ修正案ヲ出シタノデアリマス、是非共各員ノ御贊成ヲ得マシテ斯様ニ修正致シタイと思ヒマス

○山道委員長 ソレデハ討論ハ終リマシタ、是カラ採決ニ入リマスガ、採決ニ入ルニ先ダチマシテ順序ヲ一寸申上ゲテ置キマス、先ヅ關稅定率法中改正法律案ニ付キマシテ修正案ガ出テ居リマスカラ修正案ノ採決、次ニ本案ノ採決、其次ニ附帶決議ノ採決、ソレカラ昭和七年法律第四號中改正法律案即チ輸入稅ノ從量稅率ニ關スル件ノ採決デアリマス、次ニ前ノ二案ニ對スル希望條項ノ採決、其次ニ大正十四年法律第五十一號中改正法律案、是ハ關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入稅免除等ニ關スル件デアリマス、ソレト鐵ノ輸入稅免除ニ關スル法律案、モウ一ツ大正九年法律第五十三號中改正法律案、是ハ關稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件デアリマス、此三案ヲ一括シテ採決致シマス、次ニ昭和十二年勅令第三百三十號、鐵ノ輸入稅免除ニ關スル件ノ承諾ヲ求ムル件ノ採決ヲ致シマス、以上申上ゲマシタ順序デ採決ヲ致シマス——是カラ直チニ採決ニ入リマス、關稅定率法中改正法律案ニ付キマシテハ修正案ガ出テ居リマス、修正案ニ贊成ノ御方ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者起立〕
○山道委員長 多數デアリマス——次ニ本案ニ贊成ノ方ノ起立ヲ願ヒマス
〔贊成者起立〕
○山道委員長 多數デアリマス——其次ニ附帶決議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者起立〕
○山道委員長 多數デアリマス——次ニ昭和七年法律第四號中改正法律案、是ハ前ニ申上ゲマシタ輸入稅ノ從量稅率ニ關スル件デアリマス、贊成ノ方ノ御起立ヲ願ヒマス
〔贊成者起立〕
○山道委員長 多數デアリマス——前ノ關稅定率法案竝ニ今申シマシタ案ノ二案ニ對スル希望條項ガ出テ居リマス、此希望條項ハ西村君、岩瀬君、ソレカラ笠井君等カラ出テ居リマスガ、之ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス
〔贊成者起立〕
○山道委員長 多數デアリマス——ソレカラ大正十四年法律第五十一號中改正法律案、鐵ノ輸入稅免除ニ關スル法律案、大正九年法律第五十三號中改正法律案、此三案ニ對シマシテ一括シテ採決致シマス、御贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス
〔贊成者起立〕
○山道委員長 多數デアリマス——最後ニ昭和十二年勅令第三百三十號、承諾ヲ求ムル件デアリマスガ、承諾ヲ與ヘマスコトニ御贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス
〔贊成者起立〕
○山道委員長 多數デアリマス

第六類第七號 關稅定率法中改正法律案外三件委員會會議錄 第五回 昭和十二年八月四日

○西村委員 先程關稅定率法中改正法律案

ニ對シテ附帶決議案ヲ提出致シマシタ、幸ニ本委員會ニ於テハ可決サレタノデアリマス、之ニ對スル政府ノ御意向ヲ此際御言明願ヒタイノデアリマス、實ハ斯ノ如ク多數ガ之ニ向フテ意見ノ決スル以上ハ、當然政府ハ之ニ從ハレルモノト考ヘマスガ、尙ホ念ノ爲ニ御言明ヲ願フ次第デアリマス

○太田政府委員 只今西村サンカラ御問ニナリマシタ先程皆様方ノ多數ニ依ッテ御決議ニナリマシタ附帶條項ニ付キマシテハ、篤ト其趣意ヲ諒承致シマシタ、政府ニ於キマシテハ御趣意ニ副フヤウ努力スル考デアリマス(拍手)

○中井委員 只今大藏政務次官ノ御答辯ニ關聯シマシテ、此際內務當局ニ御尋ラシテ置キタイコトガアルノデアリマス、ソレハ只今大藏當局ノ御答辯ニ依ッテ明ニナリマシタヤウニ、本案ニ付テ重要ナル附帶決議ガ附ケラレタノデアリマス、其附帶決議ハ政府之ヲ諒承セラレタリトノ趣旨ニ拜聽致シタ、即チ三百萬圓ノ漁業家ニ對スル釐油ノ免稅ハ廢止サレタガ、其代リニ二百萬圓ト、更ニ本日附帶決議ニ基ク百萬圓、合セテ三百萬圓ガ漁業家ノ爲ニ政府ヨリ何等カノ形ニ於テ補償——補助ヲセラレルト云フ

コトニ相成ツタ、隨テ政府ノ御言明ニ依リマスト三百萬圓ノ損害ヲ蒙ツタト申シマスガ、其漁業家ハ又三百萬圓ヲ何等カノ形ニ於テ政府ヨリ貰フコトガ出來ルト云フコトニナッタノデアリマスカラ、燃料國策ニ基ク所ノ漁業家ノ犧牲ト云フモノハ償ハレタモノデアリマシテ、洵ニ漁業家ノ爲ニ私ハ結構ナコトデアルト思フノデアリマス、然ラバ自動車營業者ニ付テハ、一體ドウ云フ態度ヲ政府ハ執ラレルカト云フ問題ガ殘ルノデアリマス、困難セル者ハ必シモ漁業家ダケデハナイノデアリマシテ、自動車營業者ニ付テモ、同様政府ハ之ヲ考慮セラルベキ義務ガ當然アルト思フノデアリマス、漁業家ハ三百萬圓負擔ガ多クナッタガ、ソノ身代リトシテ三百萬圓ヲ政府カラ補償補助ヲ受ケルヤウニナッテ居リマス、自動車營業者ダケガ何故ニ獨リ其犧牲ヲ忍バナケレバナラヌノデアルカ、從來政府ノ答辯ニ依リマスト、自動車營業ニ關スル地方稅其他ノモノハ莫大ナ金額デアリマス、今日燃料國策ノ實行ニ依ッテ或ハ關稅ヲ上げ、或ハ消費稅ヲ増徴セラレルト云フコトニナルナラバ、其犧牲ト云フモノハ國家自ラガ之ヲ救済スベキガ當然デハナイカ、ソレヲ直チニ自動車營業者ニ其儘負擔セシメ、或ハ石油ノ生産者ニ

其儘負擔セシムルト云フコトハ、只今政府ガ答辯セラレタ漁業家ニ對スル態度ト比ベテ、如何ニモ私ハ遺憾ナルモノガ多イト思フノデアリマス、漁業家ニ拂ハシメル犧牲ヲ其儘政府ガ補償セラレルト云フコトデアルナラバ、自動車營業者ニ對シテモ、然ルベク考慮アッテ當然ナコトデアルト思フノデアリマス、今日希望條項トシテ自動車ニ關シテ二ツノ條項ガ決定サレマシタ、一ツハ燃料國策ノ遂行ニ當ッテ、自動車營業者ノ受クベキ負擔ニ付テハ、自動車稅ノ減免、其他地方ノ政治ニ關係シテ出來ルダケノ救済方策ヲ講ズベシト謂フノデアリマス、他ノ一ツハ、帝國燃料興業株式會社ノ人造揮發油ノ相當多量ガ商品トシテ市場ニ出ルマデハ、關稅ノ引上ニ依ル所ノ値上ノ許可ニ付テハ政府之ヲ考慮スベシト謂フノデアリマス、吾々ノ同僚ノ出サレタ希望條項デアリマスカラ、私モ敬意ヲ表シ贊意ヲ表シタノデアリマスガ、第二ノ如キハ關稅ヲ上げテ置キナガラ、其關稅ノ上ツタダケ「ガソリン」ノ値上ラシテハナラヌト云フヤウナ希望ハ、希望トシテハ結構ナコトデアアルケレドモ、事實行ハレルベキモノデナイト實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレハ不可能ヲ強ヒルコトデアアル、ソコデ吾々ガ自動車

營業者ノ爲ニ政府ノ執ラレルベキコトヲ要求スルノハ、ドウシテモ第一ノ地方稅等ノ減免ト云フコトニ付テ、當然政府ニ於テ考慮セラルベキモノガ殘ッテ居ルト思フノデアリマス、繰返シテ申上ゲマスガ、漁業家ハ政府自ラモ言明サレタ通り、三百萬圓ノ犧牲ヲ更ニ三百萬圓ヲ得ルコトニ依ッテ償ハレタノデアリマス、ソレナラバ何故ニ自動車營業者ダケ其儘擔テテ置カレルノデアアルカ、其點ニ付テ如何ナル考慮ヲサレルカ、此際此希望條項ニ基イテ政府ノ所見ヲ明ニサレタイノデアリマス、若シ此議會ニ於テ直チニ手ヲ著ケルコトガ出來ナイト云フコトデアルナラバ、次ノ議會マデニ何トカ考ヘルカドウカ、此點ニ付テ政府ノ所見ヲ明ニサレルコトガ當然デアラウト思フノデアリマス

○勝田政府委員 只今ノ中井君ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、自動車營業者ノ方面カラ御考ニナリマスルト、中井君ノ仰シヤッタヤウナ御考ヘ方ニ對シテハ十分同情シ得ラレルノデアリマス、併ナガラ一面自動車稅ト云フ方面カラ考ヘマスルト、御承知ノ通り「ガソリン」稅ト自動車稅トハ全ク性質ガ違ヒマスシ、又入ル所ガ違ヒマスノデ、コチラヘ取ツタカラト言ッテ、直チニ地方稅

ヲ全部落シテシマフト云フ結論ニハ到達シ
ナイ、若シ自動車税ヲ廢メルト云フコトニ
ナルトカ、或ハ減税ヲスルト云フヤウナコ
トニナリマス、ヤハリ何カ代リ財源ヲ求
メナケレバナラス、斯ウ云フコトニナッテ參
リマシテ、入所ガ違フノデ其點甚ダ難カ
シノデアリマス、殊ニ自動車税ハ御承知
ノ通り地方財源トシテ相當廣汎ニ互リマシ
テ、且ツ金額ニ於テモ相當纏ッタ金額ニナッ
テ居リマスノデ、直チニ中井君ノ御希望ニ
副ヒマス云フマデノ言明ヲ此處デ致スコ
トガ出來ナイコトハ甚ダ残念ニ考ヘマス、
併ナガラ御承知ノ通りニ中央並ニ地方ノ税
制ニ付キマシテハ、委員會モ出來マシテ、
今後近イ内ニ相當ノ根本的ノ檢討ヲ進メラ
レルコトト信ジマスルノデ、サウ云フヤウ
ナ點ニ付キマシテハ成ベク合理的ニ結末ヲ
付ケルト云フコトニ對シマシテ出來ルダケ
ノ努力ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、
ソレカラ税金以外ノ自動車業者ニ對シテ便
益ヲ與ヘルト云フコトニ付キマシテハ、是
ハ十分考慮致シタイト考ヘテ居ルノデアリ
マス、例ヘバ道路ヲ良ク致シマシテ「ガソ
リン」ノ消費ヲ少クスル、自動車ノ損傷ヲ
少クスルト云フヤウナコトモ十分考ヘルノ
デアリマスガ、サウ云フ點ニ付キマシテモ

當局ト致シマシテハ出來ルダケ盡力致シマ
シテ、サウシテ間接的デハアリマスルガ、
自動車營業者諸君ノ御負擔ヲ成ベク少クシ
タイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、
サウ云フヤウナ點カラ綜合的ニ此問題ヲ研
究シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス
○中井委員 政務次官ト討論シヨウトハ考
ヘテ居リマセヌガ、唯一言ダケ此際申述ベ
テ私ノ申スコトハ終リタイト思ヒマス、只
今政府委員ハ、「ガソリン」ノ關稅値上ト云
フ問題ト、自動車税ノ問題トハ全然趣旨ヲ
異ニスルモノデアルト言ハレタノデアリマ
ス、隨テ其代リ財源ト云フヤウナ關係カラ、
一方ヲ上ゲル代リニ他ノ方ヲ無クスルト云
フヤウナ趣旨ノコトガ、容易ニ出來スト云
フコトヲ言ハレタノデアリマスガ、現ニ今
日決定サレタ礦油免稅ノ廢止ニ付キマシテ
ハ、其身代リトシテ補助サルベキモノニハ、
水産會ノ補助カラ其事務費ノ補助マデアル
ノデアリマス、是ガ礦油税ノ免稅ノ廢止ト
ドシナ關係ガアルノデアリマスガ、ソレヲ
考ヘルト、只今勝田次官ノ仰セラレタコト
ガ事實ニ合ハナイ、承服ノ出來ヌ御答辯デ
アルト云フコトガ明デアルト信ズルノデア
リマス、何レニ致シマシテモ燃料問題ハ國
家全體ガ之ヲヤラナケレバナラス問題デア

ル、丁度國防費ヲ國民全體ガ負擔スルト同
ジコトナノデアリマス、此見地カラ致スナ
ラバ、斯ウ云フ數千萬圓ノ關稅消費税ト云
フヤウナモノヲ、業者ノミガソレヲ負擔ス
ルト云フコトハ如何ニモ可哀相デアル、是
ハヤハリ國防費ノ一ツトシテ、國家全體ガ
考慮スベキモノデアルト云フコトヲ私ハ確
信致シマス、又此「ガソリン」税ニ付キマシ
テハ數千萬圓ニ上ル、其數千萬圓ノモノヲ
自動車營業者ニ、負擔ヲ輕減セシムル爲ニ
與ヘヨト云フノデハナイノデアリマス、極
ク僅ナモノデ宜シイノデアリマス、地方税
ノ一部分デモ輕減シテヤルト云フコトデ以
テ、一種ノ社會問題化シテ居ル此大問題ガ
解決出來ルト考ヘテ居ルノデアリマス、何
レニ致シマシテモ只今ノ次官ノ御答辯ニ付
テハ甚ダ不滿ノ點ガ多イノデアリマス、其
御言葉ノ誠意ノアル所ハ諒ト致シマスガ、
兎モ角モ是デハ餘リ不公平デアル、漁業家
ニ對シテハ三百万圓引上ガタガ、直チニ一
方ニ三百万圓與ヘル、是デトシ「デアル、
自動車營業者ダケガ同ジャウナ理由デ何等
其救済ノ方法ガ講ゼラレナイト云フコト
ハ、如何ニモ私ハ政府ノ施設斷ジテ公平デ
アルト云フコトハ出來ナイト思フノデアリ
マス、是ハ冷靜ニ一ツ内務當局ハ御考ヲ願

ヒタイ、固ヨリ此議會ハ特別議會デアリマ
スカラ、其餘地ハゴザイマスマイ、隨テ次
ノ通常議會マデニハ然ルベキ方策ヲ講ゼラ
レンコトヲ切望シテ已ミマセヌ、希望條項
ノ第二ノ如キハ是ハ不可能ヲ強ヒルモノデ
アルト云フコトヲ考ヘマスルガ故ニ、特ニ
第一條項ニ付テ政府ノ決心ヲ願ヒタイト云
フコトヲ申上ゲルノデアリマス
○勝田政府委員 極ク簡單ニ申上ゲマス
ガ、中井サンノ仰シヤルコトハ、自動車業
者ノ方面カラ御覽ニナルノデアリマスルカ
ラ、其方面カラ御覽ニナレバ、地方ガ取ラ
ウガ、國ガ取ラウガ同ジダカラト云フコト
デアッテ、至極御同情申上ゲルコトガ出來ル
ト思ヒマス、併シ税金ヲ取ル方ノ側カラ見
レバ、國ヘ入ッタカラ地方ノ税金ニ向ケナイ
ト云フコトハ、入所ト出所ガ違ヒマス
ノデ、中々其點ガウマク行カナイノデアリ
マス、ソコデ吾々ハ苦心ヲ致シテ居ルノデ
アリマス、先程申上ゲマシタ通り、近イ内
ニ稅制ノ根本的檢討モ行ハレマスノデ、サ
ウ云フ場合ニ於キマシテハ財務當局トモ能
ク打合セマシテ、サウ云フ點ニ付テ考ヘ直
シテ見タイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマ
スカラ、其點ヲ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

○岩瀬委員 先程私共提案致シマシタ附帶決議ニ付テ、太田政務次官ヨリ御同意ヲ得テ何ヨリニ思ッテ居リマス、ソレニ付キマシテ農林當局ニ質シテ見タイコトガアリマス……

○山道委員長 農林當局ノ御聲明ヲ御聽ニナッテ質問セラレタ方宜イノデハアリマセスカ

○岩瀬委員 ソレデハ農林當局ノ御聲明ヲ伺ッテカラ質問致シマス

○高橋政府委員 只今御決議ニナリマシタ附帶決議ノ、明年度ヨリ漁業經營費低減施設費ノ豫算増額方ニ付テノ御意見ニ付キマシテハ、大藏當局ノ言明ノアリマシタ通りデアリマス、農林省ト致シマシテハ、其中特ニ中小漁業従業者ニ對スル特別ノ新規施設ヲ行フ趣旨ノ點ニ付キ篤ト考慮致シマシテ、適切ナル方途ヲ講ジタイト思フ次第デアリマス

○岩瀬委員 只今農林次官ノ御話ガアッテ非常ニ安心致シマシタガ、尙ホ重ネテ御同致シタイコトハ、附帶決議ヲ見マスト「昭和十三年度以降年額三百万圓ニ増額シテ施設ヲ擴充シ、其ノ内百万圓ヲ下ラザル金額ハ從來ノ關稅免除ニ依ル受益者中現行豫算ノ機械改造補助ヲ受ケザル中小漁業者ニ補

助金トシテ交付スベシ」トアルノデアリマスガ、之ニ付キマシテ吾々ノ仲間ニ於キマシテモ、斯ウ云フ附帶決議ヲシテモ實際ノ施行ハ出來マイトカ云フヤウナ意見ヲ吐ク人ガアリマス、私共ハ農林當局ニ於テハ、

必ズ誠意ヲ以テヤッテ呉レルモノト、斯様ニ確信シテ此決議ハ決議シタノデアリマス、今迄ハ往々ニシテ附帶決議ハ單ナル決議ニ終ッテ、實行サレナイモノデアルト云フヤウナコトヲ聞イテ居リマシタガ、此決議ニ限ッテハ必ズ誠意ヲ以テヤッテ呉レル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ッタノデアリマス、只今政務次官ノ御話ヲ聽キマシテ稍々安心ハ致シタノデアリマスルガ、假ニ機械改造費ガ二百万圓ニ充タナカッタ場合ニハ、其残り全部ヲ受益者中デ其補助ヲ受ケナイ人ニ適切ニ均等ニ當ルヤウニヤッテ下サル方法ト御誠意ガアルカドウカ、重ネテ御同致シタイト思ヒマス

○高橋政府委員 御承知ノ通り二百万圓ハ機械ノ改造費トシテ十箇年計畫デ、全部輕油機關ヲ重油機關ニ直シテ、サウシテ燃料國策ノ趣意ニ副ヒタイト云フ趣意デ立案シタモノデアリマス、只今皆様ノ多數ノ方ノ御意向ニ依リマシテ、來年度カラ増額サレルト云フ金額ニ付キマシテハ、御趣旨ノヤウナ意味ニ於キマシテ、中小漁業従業者ヲ

中心ニ致シマシテ之ニ對シテノ施設ヲ講ジタイト云フ風ナ考ヘ方ヲシテ居リマスガ、御趣意ノ程ハ能ク諒承致シマシテ、成ベクソレニ副フヤウニ致シタイト思ヒマス

○山道委員長 一寸皆サンニ申上ゲマス、田原君カラ希望條項ニ付テ述ベタイト云フ申出ガアリマス、既ニ採決ノ後デアリマスノデ如何カト思ヒマスケレドモ、折角田原君ガ大衆黨ヲ代表シテノ希望ノ陳述デアリマスカラ、簡單ニ御述ヲ願ヒマシテ、之ヲ一應御聽取ヲ願ヒマス

○田原委員 實ハ修正案ガ通ラナケレバ、斯ウ云フ希望條項デ原案ニ贊成ヲシヨウト云フ氣持デ居ッタノデアリマスガ、私ノ不慣ノ爲ニソレヲ言ヒ落シタノデ、希望條項デケヲ社會大衆黨ノ作りマシタモノヲ朗讀致シマシテ、皆様竝ニ政府委員諸君ニ御傳ヘ致シテ置キマス

一 政府ハ砂糖關稅引下ニ伴フ砂糖市價ノ低落ニ依ル損失ガ甘蔗栽培者ニ轉嫁サル、コトナキヤウ嚴重ニ監督スベシ
二 政府ハ今後液體燃料自給策ヲ遂行ニ當リ石炭及其他ノ基礎産業ヲ一丸トスル國策ヲ確立スルト共ニ人造石油製造事業ヲ採算ヲ「ガソリン」關稅ノ引上ニ依ッテ維持スルガ如キ方策ヲ避クルコ

トニ努力スベシ

三 政府ハ物價騰貴ニ惱ミツ、アル國民生活ノ實情ニ鑑ミ今後トモ出來得ル限リ生活必需品ノ輸入關稅ヲ廢減スルト共ニ製紙、製糖ノ如キ高率ノ利潤アル事業ニ對シテハ最早關稅保護ノ必要ナキヲ以テ「バルブ」及砂糖ノ輸入關稅ノ如キハ之ヲ全廢スルヤウ善處スベシ以上デアリマス

○西村委員 委員會ノ今將ニ終ラントスルニ際シテ一言申上ゲタイト思ヒマス、吾々ハ此國家非常時ト國策遂行ノ上ニ於テ、是ナラバ國民全體ニ對シテ適當ナル救済或ハ援助ノ途デアルトシテ、出來得ルコトヲ考ヘテ、是ニ於テ希望條件ヲ添ヘ、又附帶條件ヲ添ヘタノデアリマス、附帶條件ニ付テハ既ニ農林大藏兩省トモ代表シテ御言明ニナッタ爲ニ、何事モ申シマセヌ、此希望條件ニ付テハ吾々先程申シタ通り、出來得ル範圍内ニ於テ、國家非常時竝ニ國策ノ遂行ノ大切ナルコトヲ知ッテ、ソレデモ是ハ出來ルデアラウト云フコトヲ考ヘテノ希望條件ヲ添ヘタノデアリマス、成ベク吾々ノ意思ニ副フヤウニ願ヒタイノデアリマス、第二ニ補助ト云フコトニ對シテハ、能ク法制上或ハ執行ノ上カラモ疑義ヲ生ズルノデアリマ

ス、ドウカ補助ヲ實行サル、トキニハ農林省ニ於カレマシテモ、世ノ中ニ疑義ヲ生ジナイヤウニ十分注意シテ、此決議ノ實行其他ニ付テ處理シテ戴キタイト云フコトヲ希望シテ置キマス

○上田委員 只今礦油中漁業油ノ關稅免除ノ問題ニ付テハ附帶條件ヲ付シテ、政府モ之ニ同意スルトノ御言明ヲ得タコトハ、私共モ至極結構ト思ヒマスガ、尙ホ本案ガ本會議ニ上程セラレマス際ニ、所管大臣ニ是非トモ御出席願フテ、更ニ御言明ヲ賜ハラシコトヲ委員長ニ希望シテ、政府當局ニ御傳ヘ願ヒタイト思ヒマス

○山道委員長 上田君ニ申上ゲマス、必ズ御趣旨ノ通りニシテ戴キマシヤウニ政府ニ要求致シマス——是デ本案ノ審査ハ終了致シマシタ、連日ニ互リマスル委員諸君竝ニ政府委員諸君ノ御熱誠ナル御努力ニ對シテ、深甚ナル謝意ヲ表シマス、是ニテ散會致シマス

午後二時四十五分散會

昭和十二年八月四日印刷

昭和十二年八月五日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所